

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	リオベル配合錠 LD	市販直後調査 平成 23 年 9 月～平成 24 年 3 月
(英名)	LIOVEL Combination Tablets LD	
(規格・含有量)	1錠中、アログリプチン安息香酸塩34mg(アログリプチンとして25mg)及びピオグリタゾン塩酸塩16.53mg(ピオグリタゾンとして15mg)を含有	
(一般名)	アログリプチン安息香酸塩/ピオグリタゾン塩酸塩配合錠	
(メーカー名)	武田薬品工業	
【薬価収載日】	2011年9月	
【薬価】	1錠:227.20円	
【薬効コード】	873969	
【薬効分類名】	2型糖尿病治療剤	
効能・効果	2型糖尿病 ただし、アログリプチン安息香酸塩及びピオグリタゾン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限る。	
用法・用量	通常、成人には1日1回1錠(アログリプチン/ピオグリタゾンとして25mg/15mg又は25mg/30mg)を朝食前又は朝食後に経口投与する。	
警告	本剤の投与により皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)及び中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)等の重篤な皮膚障害があらわれることがあるので、本剤の投与にあたっては十分に注意すること	
禁忌	①心不全の患者及び心不全の既往歴のある患者 ②重症ケトアシトシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病の患者 ③重篤な肝機能障害のある患者 ④重篤な腎機能障害のある患者 ⑤重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者 ⑥本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ⑦妊婦又は妊娠している可能性のある婦人	
相互作用	本剤他剤副作用増強 スルホニルウレア剤(グリメピリド、グリベンクラミド、グリクラジド、トルブタミド等)、速効型インスリン分泌促進薬(ナテグリニド、ミチグリニドカルシウム水和物)、 α -グルコシダーゼ阻害剤(ボグリボース、アカルボース、ミグリトール)、ビグアナイド系薬剤(メトホルミン塩酸塩、プロホルミン塩酸塩)、GLP-1アナログ製剤(リラグルチド、エキセナチド)、インスリン製剤 本剤作用増強 β -遮断薬、サリチル酸製剤、モノアミン酸化酵素阻害薬、フィブラート系の高脂血症治療薬、ワルファリン等 本剤作用減弱 アドレナリン、副腎皮質ホルモン、甲状腺ホルモン、リファンピシン等のCYP2C8を誘導する薬剤	
副作用	重大な副作用 心不全、浮腫、肝機能障害、黄疸、低血糖症状、横紋筋融解症、間質性肺炎、急性膵炎、皮膚粘膜眼症候群・多形紅斑、胃潰瘍 その他 発疹、湿疹、そう痒、LDH及びCK(CPK)の上昇 等	

(薬品名)	ニュープロ パッチ 4.5mg・9mg	劇 市販直後調査 平成 25 年 2 月～平成 25 年 8 月
(英名)	Neupro patch	
(規格・含有量)	4.5 mg/1 枚 1 枚中ロチゴチン 4.5mg を含有 9 mg/1 枚 1 枚中ロチゴチン 9mg を含有	
(一般名)	ロチゴチンパッチ	
(メーカー名)	大塚製薬	
【薬価収載日】	2013年2月	
【薬価】	416.50円/1枚(4.5mg)、641.80円/1枚(9mg)	
【薬効コード】	871169	
【薬効分類名】	ドパミン作動性パーキンソン病治療剤(4.5mg、9mg)、レストレスレッグス症候群治療剤(4.5mg)	
効能・効果	①パーキンソン病(4.5mg、9mg) ②中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群)(4.5mg)	
用法・用量	①通常、成人にはロチゴチンとして1日1回4.5mg/日からはじめ、以後経過を観察しながら1週間毎に1日量として	

	<p>4.5mgずつ増量し維持量(標準1日量9mg~36mg)を定める。なお、年齢、症状により適宜増減できるが、1日量は36mgを超えないこと。</p> <p>本剤は肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。</p> <p>②通常、成人にはロチゴチンとして1日1回2.25mg/日からはじめ、以後経過を観察しながら1週間以上の間隔をあけて1日量として2.25mgずつ増量し維持量(標準1日量4.5mg~6.75mg)を定める。なお、年齢、症状により適宜増減できるが、1日量は6.75mgを超えないこと。本剤は肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。</p>
相互作用	<p>本剤他剤作用減弱 ドパミン拮抗剤(フェノチアジン系薬剤、ブチロフェノン系薬剤、メクロプラミド等)</p> <p>本剤他剤作用増強 抗パーキンソン剤(レボドパ、抗コリン剤、アマンタジン塩酸塩、ドロキシドパ、エンタカポン、セレギリン塩酸塩、ゾニサミド等)</p>
禁忌	<p>①妊婦又は妊娠している可能性のある婦人</p> <p>②本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p>
副作用	<p>重大な副作用 突発的睡眠、幻覚、妄想、せん妄、錯乱、悪性症候群</p> <p>その他 適用部位反応(49.4%)、悪心(22.5%)、傾眠(10.8%)、ジスキネジア、嘔吐(7.5%) 等</p>

削除医薬品通知

●4月1日より

バソメット錠	削除
セレジスト錠 5 mg	削除
イソジン液 10% 250mL	消尽後削除

医薬品規格追加通知

今回採用医薬品

●4月1日より

メソトレキセート点滴静注液 1000mg

医薬品変更通知

今回採用医薬品(採用)	従来採用医薬品(削除)
<p>●4月1日より</p> <p>セレジスト OD 錠 5 mg</p> <p>イオダインM消毒液 10%</p>	<p>セレジスト錠 5 mg</p> <p>イソジン液 10% 250mL</p>

適応追加通知

インデラル錠 10mg	<p>本態性高血圧症(軽症～中等症) 狭心症 期外収縮(上室性、心室性)、発作性頻拍の予防、頻拍性心房細動(徐脈効果)、洞性頻脈、新鮮心房細動、発作性心房細動の予防 褐色細胞腫手術時 片頭痛発作の発症抑制</p>
エイムゲン	A型肝炎の予防
エクア錠 50mg	2型糖尿病
クラリス錠 200	ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎
geltopa注 600万	<p>虚血性脳血管障害急性期に伴う機能障害の改善(発症後4.5時間以内) 通常、成人には体重kg当たりアルテプラゼ(遺伝子組換え)として34.8万国際単位(0.6mg/kg)を静脈内投与する。ただし、投与量の上限は3,480万国際単位(60mg)までとする。投与は総量の10%は急速投与(1～2分間)し、その後残りを1時間で投与する。 なお、本薬の投与は発症後できるだけ早期に行う。</p>
トラゼンタ錠 5mg	2型糖尿病(ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る。)
パクリタキセル注 30mg/5mL「NK」 100mg/16.7mL「NK」	<p>卵巣癌、非小細胞肺癌、乳癌、胃癌、子宮体癌、再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、再発又は遠隔転移を有する食道癌、血管肉腫、進行又は再発の子宮頸癌、再発又は難治性の胚細胞腫瘍(精巣腫瘍、卵巣腫瘍、性腺外腫瘍) 非小細胞肺癌、胃癌及び子宮体癌にはA法を使用する。 乳癌にはA法又はB法を使用する。 卵巣癌にはA法又はカルボプラチンとの併用でC法を使用する。 再発又は難治性の胚細胞腫瘍には他の抗悪性腫瘍剤と併用でA法を使用する。 再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、再発又は遠隔転移を有する食道癌、血管肉腫にはB法を使用する。 進行又は再発の子宮頸癌にはシスプラチンとの併用において、D法を使用する。 A法:通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回210mg/m²(体表面積)を3時間かけて点滴静注し、少なくとも3週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 B法:通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回100mg/m²(体表面積)を1時間かけて点滴静注し、週1回投与を6週連続し、少なくとも2週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 C法:通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回80mg/m²(体表面積)を1時間かけて点滴静注し、週1回投与を3週連続する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 D法:通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回135mg/m²(体表面積)を24時間かけて点滴静注し、少なくとも3週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。 なお、投与量は、患者の状態により適宜減量する。</p>
ミンクリア内用散布液 0.8%	上部消化管内視鏡時の胃蠕動運動の抑制
リバロ錠 2mg	<p><用法・用量> 通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして1～2mgを1日1回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日4mgまでとする。</p>
リリカカプセル 25mg 75mg	神経障害性疼痛、線維筋痛症に伴う疼痛
ロイナーゼ注用 5000	<p><用法・用量> (静脈内投与)通常、1日量体重1kgあたり50～200K.U.を連日または隔日に点滴で静脈内に注入する。 年令、全身状態により適宜増減する。 (筋肉内投与)通常、1日1回体表面積1m²あたり10000K.U.を週3回、または1日1回体表面積1m²あたり25000K.U.を週1回、筋肉内に注入する。 なお、患者の状態により適宜減する。</p>